

令和3年 **3**月の**思いやり**通信



CO2 からコンクリ 大成建設、脱炭素に寄与

*大成建設は二酸化炭素（co2）からコンクリートを製造する技術を開発。

Co2 を原料にした炭酸カルシウムを使い、1m³あたり最大 170 kgの co2 をコンクリートに封じ込めます。

*コンクリートは製造工程で 1m³あたり 260~300 kgの co2 を排出し、このうち約 9 割がセメントの製造過程で発生。

（2021年2月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



エコライフ - リフォームと新築の選択基準

☆リフォームを考えるきっかけ

*生活に直接影響する部分の故障（雨漏り、水漏れなど）

*設備の故障（床、扉、水回りなど）

*使い方の変更（住人の増減、世帯主の退職など）

*中古住宅の購入

☆リフォームしか選択できないケース

*法律上の制限により新築住宅の建築が許可されない。

*建築は許可されるが、延べ床面積の縮小が必須のうえ、縮小すると家が極端にちいさくなってしまう場合。

☆新築を選択したほうがよいケース

*省エネで快適な家にするために必要な費用が、リフォームするよりも新築したほうが抑えられる場合。

☆新築の建築費用がリフォームの費用を下回るケース

①断熱性能が非常に低い住宅（断熱等級1や2）

*昭和54年以前に建築された住宅は、ほぼ当てはまります。

*昭和54年以降でも断熱性能は義務化されていなかったため、個別に判断が必要。

朝起きた時に、室内が外と同じくらいの気温の場合は断熱等級が1か2だとおもわれます。

②壁の中がカビていたり、木材が腐ってしまっている



*見栄えだけを変えたり、同じような材料で作り直しても再発してしまいます。

*材料や作り方ともに変更する必要があります。

*その場合、リフォームでも大きな費用が必要になります。

③古民家のリフォーム

*格好の良い家にはなるかもしれませんが、熱環境としてはかなり厳しいものがあります。

*リフォームの費用や断熱性能を考えると、古民家のリフォームは割に合いません。

*古きよきものを残す意義はあるので、費用度外視でリフォームするという選択肢も。

(高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)

